

WHOの

パンデミック条約と国際保健規則IHR改定案から

日本をまもりたい・・・

2024年5月にWHO（世界保健機関）が、国際保健規則の大幅な改定と、新たな国際条約の“パンデミック条約”について決議します。私たちの生活が大きく変わります。以下がWHOが提示した内容です

パンデミック条約

ワクチンの義務化

ワクチンパスポート

ロックダウン・
国民監視

国際保健規則IHR改定案

情報の検閲・言論統制

日本の国家主権の喪失

WHOが独自に
パンデミック宣言発令。
加盟国は従う義務



今やWHOの運営資金の大半が、ビルゲイツ財団、製薬会社、その他NGOなどからの寄付金です。寄付者の意見がより反映された組織に変わりました。

ニュージーランド、フィリピン、メキシコ、エストニア、スロバキア、オランダの6カ国から、拒否の姿勢がWHOに示されました(2023 12 01付)

簡潔にまとめた
動画QRコードです
参考にどうぞ。

「及川幸久 X」

https://x.com/oikawa_yukihisa



あなたはWHOが提示するような人権が奪われた、自由の無い生活を選びますか？それともこれまで通りの生活(コロナワクチン接種の自由、外出の自由、情報検索の自由)を選びますか？未来が決定されるのは2024年5月のWHO総会。市民のあなたはそれを知る権利があります。



World Council
For Health

大丈夫。より良い方法“Better Way”があります。詳しくは裏面へ→



ワールド カウンシル フォー ヘルス ジャパン World Council for Health Japan (WCH Japan) 世界保健評議会

WHOに対抗する保健団体WCH。WCHの理念『市民が自由に選択できる医療』を目的として2021年に設立されました。世界約45か国から200以上の団体が賛同する、健康に関してより良い方法を目指した国際組織WCH。WCHはワクチン接種の自由を尊重し、コロナ予防・治療に効果の高いイベルメクチン薬を推奨しています。



子どもの未来を
守りたい

時は昭和を越え、平成を越え、今は令和の時代。令和は市民が主役の時代。市民が自ら選択し、自ら決断する時代。だからコロナワクチン、打つか打たないかは、自分で決める。私の未来、子どもの未来を守るために…

私たちができる3つのこと

- 1.日本のWHO脱退希望の署名をして下さい。署名お願いは後程。
- 2.WCH Japanのことを知って、無料会員登録をお願いします。
より良い方法の役立つ情報があります。
- 3.この事を多くの人に伝えて下さい。詳細情報はHPの↓QRコードより

WCH Japan
HP



無料会員登録方法

